

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 7 月 2 日 (2009.7.2)

【公表番号】特表 2008-545672 (P2008-545672A)

【公表日】平成 20 年 12 月 18 日 (2008.12.18)

【年通号数】公開・登録公報 2008-050

【出願番号】特願 2008-512750 (P2008-512750)

【国際特許分類】

C 07 C 59/70 (2006.01)

C 07 C 69/712 (2006.01)

C 07 C 205/37 (2006.01)

C 07 C 235/22 (2006.01)

C 07 C 317/22 (2006.01)

C 07 C 67/12 (2006.01)

C 07 C 231/02 (2006.01)

C 07 C 59/90 (2006.01)

C 07 C 323/20 (2006.01)

C 07 C 51/09 (2006.01)

C 07 C 201/12 (2006.01)

C 07 C 315/04 (2006.01)

C 07 C 319/20 (2006.01)

A 61 K 31/216 (2006.01)

A 61 K 31/192 (2006.01)

A 61 P 29/00 (2006.01)

A 61 P 11/00 (2006.01)

A 61 P 11/06 (2006.01)

C 07 B 41/08 (2006.01)

【F I】

C 07 C 59/70 C S P

C 07 C 69/712 B

C 07 C 205/37

C 07 C 235/22 Z

C 07 C 317/22

C 07 C 67/12

C 07 C 231/02

C 07 C 59/90

C 07 C 323/20

C 07 C 51/09

C 07 C 201/12

C 07 C 315/04

C 07 C 319/20

A 61 K 31/216

A 61 K 31/192

A 61 P 29/00

A 61 P 11/00

A 61 P 11/06

C 07 B 41/08

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月18日(2009.5.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

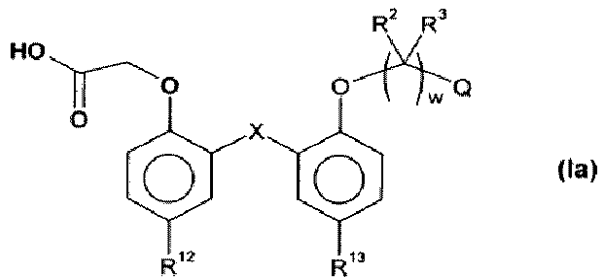
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊離形または薬学的に許容される塩形の式(Ia)

【化1】



〔式中、

Qは - C(O)OR⁶ および - C(O)NR⁷R⁸ から選択され；

R² および R³ はHであり；

R⁶ はHまたはC₁ - C₈ - アルキルであり；

R⁷ はHであり；

R⁸ はC₃ - C₁₅ シクロアルキルであり；

R¹² および R¹³ は独立して、水素、ハロゲン、ニトロ、またはC₁ - C₈ - アルキルスルホニルであり；

Xは - CH₂ - 、-SO - または - SO₂ - であり；そして

Wは1である〕で示される化合物。

【請求項2】

[4 - クロロ - 2 - (5 - クロロ - 2 - メトキシカルボニルメトキシ - ベンジル) - フェノキシ] - 酢酸；

[4 - クロロ - 2 - (5 - クロロ - 2 - エトキシカルボニルメトキシ - ベンジル) - フェノキシ] - 酢酸；

[4 - クロロ - 2 - (5 - クロロ - 2 - イソブトキシカルボニルメトキシ - ベンジル) - フェノキシ] - 酢酸；

[4 - クロロ - 2 - (5 - クロロ - 2 - イソプロポキシカルボニルメトキシ - ベンジル) - フェノキシ] - 酢酸；

[4 - ブロモ - 2 - (5 - ブロモ - 2 - カルボキシメトキシ - ベンジル) - フェノキシ] - 酢酸；

[4 - クロロ - 2 - (5 - クロロ - 2 - シクロプロピルカルバモイルメトキシ - ベンジル) - フェノキシ] - 酢酸；

[4 - フルオロ - 2 - (5 - フルオロ - 2 - カルボキシメトキシ - ベンジル) - フェノキシ] - 酢酸

[2 - (2 - カルボキシメトキシ - 5 - クロロ - ベンジル) - フェノキシ] - 酢酸；

{ 4 - クロロ - 2 - [2 - カルボキシメトキシ - 5 - クロロ - フェニルスルファニル] - フェノキシ } - 酢酸；

{ 4 - クロロ - 2 - [ベンゼンスルホニル - 5 - クロロ - 2 - カルボキシメトキシ] - フェノキシ酢酸；

4 - [2 - (2 - カルボキシメトキシ - 5 - クロロ - ベンジル) - 4 - クロロ - フェノキシ] - 酪酸；

[2 - (2 - カルボキシメトキシ - 5 - クロロ - ベンジル) - 4 - ニトロ - フェノキシ] - 酢酸 ;

2 - [2 - (2 - カルボキシメトキシ - 5 - クロロ - ベンジル) - 4 - クロロ - フェノキシ] - 2 - メチル - プロピオン酸 ;

[2 - (2 - カルボキシメトキシ - 5 - クロロ - ベンゾイル) - 4 - クロロ - フェノキシ] - 酢酸 ; および

[2 - (2 - カルボキシメトキシ - 5 - メタンスルホニル - ベンジル) - 4 - クロロ - フェノキシ] - 酢酸から選択される請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 3】

医薬として使用するための請求項 1 または 2 に記載の化合物。

【請求項 4】

請求項 1 または 2 に記載の化合物を含む医薬組成物。

【請求項 5】

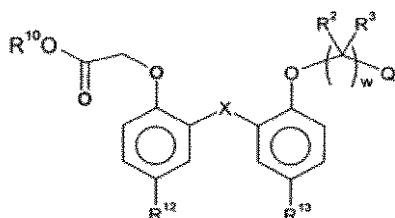
炎症またはアレルギー状態、特に炎症性または閉塞性気道疾患の処置のための請求項 1 または 2 に記載の化合物の使用。

【請求項 6】

遊離形または薬学的に許容される塩形の請求項 1 で定義される式 (I a) の化合物の製造法であって、

(i) (A) 式

【化 2】



[式中、 R^{10} は $C_1 - C_8$ - アルキル、 $C_3 - C_{15}$ - シクロアルキル、 $C_1 - C_8$ - アルキル ($C_6 - C_{15}$ - 芳香族性炭素環式基) および $C_6 - C_{15}$ - 芳香族性カルボン酸基から選択され ; そして

他の全ての記号が上記定義のとおりである] である化合物のエステル基 - $COOR^{10}$ を開裂するか、または

(B)

Q が - $COOR^6$ または - $C(O)NR^7R^8$ であり ;

R^6 が $C_1 - C_8$ - アルキルであり ; そして

R^7 および R^8 が上記定義のとおりである式 (I a) の化合物の製造のために、

Q が - $COON$ である式 (I a) の化合物の適当なエステル化またはアミド化し ; そして (ii) 遊離形または薬学的に許容される塩形の得られた式 (I a) の化合物を回収する段階を含む方法。